

学年集会を開き、修学旅行の内容や約束事を確認しました。(10月6日 体育館)

「絆(きずな)」——断とうにも断ち切れない人の結びつきを表す言葉です。発生から10年が経った大震災。発生後の数年、多くの人に多くの場で使われた言葉です。

地震による津波やその後発生した原子力災害により、多くの人々が被災し故郷を離れざるを得ませんでした。そのような状況の中で、人々が生き、生活や心の拠り所としたのが、人々の結びつき「絆」でした。

その当時の卒業文集の多くが、この言葉を文集のタイトルにしていたことを思い出します。

「絆(つなぐ)」——「つなぐ」と読ませ、最近使われ始めた言葉です。人と人を結ぶ意味があります。本校の修学旅行スローガンにこの言葉が採用されました。しおりには、様々な人々との出会いや発見を大切にしようと説明されています。

コロナ禍の中、人との距離をとることが求められ、改めて人々のつながりの大切さが見直されています。実行委員たちが現状を見つめ考え出した言葉。秀逸なスローガンと言えます。

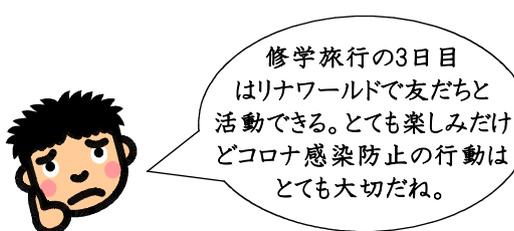
そしてサブスローガンは「雨ニモマケズ コロナニモマケズ」——賢治もうなづいています。

## コロナニモマケズ

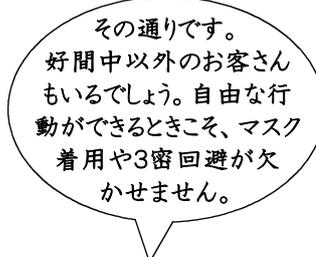
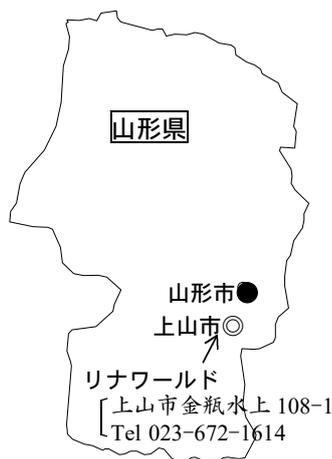
# 修学旅行に向けて(12)

## —自由時間の過ごし方—

修学旅行を成功させる上で、その前提をなすのが「新型コロナ感染防止」です。本号では旅行中の場面毎に感染防止の取り組みを紹介してきました。最後はリナワールドでの過ごし方です。修学旅行を締めくくる3日目を、友人とともに充分注意しながら楽しく過ごしてほしいと思います。



真路じつげん君



好間さつき 先生

### リナワールドでの自由時間の過ごし方

好間中生がすべきこと	<p>① 健康・体調管理…朝の検温などで自分の体調を把握をする。 …班員と相談しながら過度に負担のかからない無理のない活動をする。</p> <p>② マスク着用…食事時以外はマスクを着用する。</p> <p>③ 適切な距離…対面での活動を控え、周りの人との適切な間隔をとる。</p> <p>④ 自由時間…班単位でマナーを守った行動する。</p> <p>⑤ 食事のとり方…入館前に渡された昼食代以内で各班単位で昼食をとる。 …食事中は対面を避け、黙食を励行する。</p> <p>⑥ 困ったとき…施設のスタッフや好間中教員に連絡したり相談する。 (本校職員が常駐する場所は、現地で知らせる。)</p> <p>⑦ 集合時間…時間を有効に活用するとともに、14:50までには集合する。</p>
------------	--

リナワールド側	<p>① スタッフの健康管理…毎日の健康管理(検温・手洗い徹底・マスク着用など)</p> <p>② 館内の衛生管理…ア 施設内共用部及び遊具等の消毒 イ 施設内換気の徹底 ウ キープディスタンス(食事会場等の席間隔を十分に空けるなど) エ スタッフのマスク着用 オ 受付や売店では飛沫防止シートを設置し、トレーでの現金受渡</p>
---------	---

【学年目標】 ■自ら判断し行動し下級生の模範となる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒  
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1  
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338